

## 指定管理者評価委員会の評価結果（令和3年度）

令和3年10月29日

評価対象	施設名	中之島公園(リバーポートパーク美濃加茂)		
	設置目的・役割等	木曽川の自然を保全しつつ、人々が水辺や森など公園周辺の自然に親しむ場として、また、街を散策する際の拠点として、憩いと集いの空間を提供する施設		
	施設の所在地	美濃加茂市御門町 2-6-6		
	規模等	敷地面積	29,476.56 m <sup>2</sup>	担当課
		延床面積等	1,384.08 m <sup>2</sup> (ビジターハウス:木造2階建て)	土木課
	指定管理者名	中之島公園利活用共同体(有限会社 EAT&LIVE、有限会社リタッグ)		
	指定期間	平成30年4月1日～令和5年3月31日 (公募・非公募(任意指定))		

評価委員 (敬称略)	日本福祉大学 IR推進室専任研究員 笹川 修 名城大学 都市情報学部教授 赤木 博文 岐阜協立大学 経済学部准教授 藤井 えりの 三菱UFJリサーチ&コンサルティング(株)上席主任研究員 田中 三文 コンサルティングシスト代表 伊藤 慎悟
---------------	---

総合評価結果	二次評価	A
<p>【非常に評価できる点】</p> <p>①前回の指摘事項への対応</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>令和元年度の評価委員会において、指摘・要望した事項(ベンチの設置、小ホールの活用、アンケートの改善、シャワー利用促進の取組み、パンフレットの改善、カフェの収益改善の取組み)に対して改善に向けた積極的な取組みが行われている。</li> </ul> <p>②SNS等の活用</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>SNSの分析等を効果的に実施しており、広告宣伝費をかけずにSNSを利用して集客している。</li> <li>様々な角度からリバーポートパークの魅力をInstagramでほぼ毎日発信しており、様々な利用者層に対してアプローチできている。</li> </ul> <p>③地域連携・イベント等の拡充</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>地域連携に重点を置いて、様々なイベントを積極的に実施し、まちを盛り上げている。</li> <li>開園当初と比較すると様々なプログラム・イベントも充実している。</li> <li>モニターという形でキャンピングカーを利用したキャンプを実施するなど、今の時代の流れに合わせて常に新しいことを始めている。</li> <li>結婚式など様々な用途に利用されており、アウトドア好きな人だけではなく、リバーポートパークが好きな人々に広く利用される取組みを行っている。</li> <li>リバーポートパークのイメージが美濃加茂市のイメージアップにつながっており、美濃加茂市のブランディングに貢献している。</li> </ul> <p>④高い意識</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>SNS等への口コミに対する意識を非常に高く持っており、口コミに対して丁寧な回答をしている。</li> <li>グーグルの平均口コミ評価が4.3という非常に高い評価であることに満足せず、さらに4.6以上を目指すという非常に高い意識を持っている。</li> </ul>		

## 要改善・勧告事項

### 【指定管理者に対する要望・指摘】

#### ①Instagramについて

- ・ Instagramの文章が長い。Instagramはスマートフォンで見るため、スマートフォンの1画面で完結する長さの文章が望ましい。
- ・ 「いいね率」が非常に低い。「行きたい率」につながる「いいね率」を上げるためには、Instagramの表現方法をさらに工夫する必要がある。具体的には、Instagramにインパクトのある写真を掲載することが重要となる。

#### ②リバポの森の活用について

- ・ 今後のリバポの森の活用が、リバーポートパークにとって非常に重要な位置付けになる。美濃加茂市独自の森の価値を高める演出をどのように行うかが重要であり、今後の活用に期待している。  
(活用例)SDGs関連の学習プログラム、グランピング等

#### ③公園管理について

- ・ リバーポートパークの指定管理者には公園を管理しながら自主事業を行うことが求められているため、公園管理については更なる改善が必要である。苦手だからこそ努力して適切に管理しなければいけない。
- ・ 公園管理と集客の両立というのは難しいことであり、みのかも健康の森・ぎふ清流里山公園との連携会議の中で弱みを補えるような仕組みができると良い。

## その他指摘事項

### 【市に対する要望・指摘】

#### ①公園管理について

- ・ リバーポートパークの自然を守っていくことが非常に重要である。そのためには、美濃加茂市が指定管理者の公園管理を適切にモニタリングする必要がある。公園管理が弱いのであれば、みのかも健康の森と連携するなどの方策を取り、美濃加茂市として木曽川の水と水辺の森を守っていくことを忘れないようにしてほしい。

#### ②指定管理者との連携について

- ・ 現在の指定管理者は非常に優良な事業者であり、美濃加茂市とwin-winの関係になれるのではないかと。指定管理者と良好な関係を継続することができれば、美濃加茂市内の交流人口を増加させることにもつながるため、指定管理者との関係を大切にすべきである。
- ・ 中之島公園利活用共同体は、地域との連携も含めて様々な観点から素晴らしい取り組みをしている。このノウハウと実績を活かす方向で、美濃加茂市は指定管理者と連携を図ることが望ましい。
- ・ 次回公募の際には、指定管理者が総合的に今よりも指定管理が行いやすいような形になるように、業務内容や公募条件等を見直すべきではないか。

#### ③ノウハウの蓄積について

- ・ 行政側の職員は数年ごとに異動するため、外部の事業者に残る形になりやすい。現在の指定管理者との良好な関係や、リバーポートパークで培われるノウハウが無くならないように注意しなければならない。
- ・ 美濃加茂市の指定管理施設の中では、リバーポートパークが最も市と事業者の連携が取れている印象ではあるが、リバーポートパークのノウハウをどこに蓄積するのかという点が大きな課題である。今後更新が公募型に変わる中で、ノウハウを蓄積する仕組みを作っていく必要がある。

●二次評価の判定基準

総合評価	基準
A(優 良)	施設の維持管理・運営を適正かつ効果的・効率的に行い、「サービスの向上」、「利用者数・稼働率の向上」及び「管理経費の縮減・費用対効果の向上」を図る具体的な取り組みを積極的に実施している
B(良 好)	施設の維持管理・運営を適正に行い、「サービスの向上」、「利用者数・稼働率の向上」及び「管理経費の縮減・費用対効果の向上」を図る具体的な取り組みを一部実施している
C(課題有)	施設の維持管理・運営を適正に行っているものの、一部課題があり、「サービスの向上」、「利用者数・稼働率の向上」及び「管理経費の縮減・費用対効果の向上」を図る取り組みもあり見られない
D(要改善)	施設の維持管理・運営に問題があり、早急な改善・勧告が必要である

# 評価委員会における指定管理者の報告要旨

令和3年10月29日

施設名	中之島公園(リバーポートパーク美濃加茂)
指定管理者名	中之島公園利活用共同体(有限会社 EAT&LIVE、有限会社リタッグ)

## ①前回の指摘事項への対応

- 令和元年度の評価委員会において指摘を受けた事項について、以下のとおり改善に取り組んでいる。

前回の指摘事項	対応策
園内にベンチがあると良い	川沿いの約 10 箇所に寝転がることのできるベンチを設置した
小ホールが活用されていない	大・小ホールは壁で区切られていないため、パーティー、ヨガ等でビジターハウスを利用される方に、大・小ホールの全面利用を薦めている
メインターゲットのニーズを把握するために、アンケートを年代と性別が分かるようにすると良い	予約の際や来園時のアンケートで性別や年代、都道府県等の情報を収集し、これを分析することでCMIに活用している
シャワーの稼働率を上げるためには、シャワーを利用してもらう仕掛けが必要	SUP ヨガ、マラソン練習会などシャワー利用につながるイベントを企画・実施している
2 種類あるパンフレットの見分けがつかない	パンフレットに発行年と冬バージョンには「winter」と明記した
サービスを向上させ、カフェの収益を改善する必要がある	キッチンカー、物販、ネット販売などを新たに展開し、リバーポートパークの認知度向上とともに収益の改善を図っている

## ②SNS 等の活用

- イベントは SNS で情報発信し、各イベントがほぼ全て埋まる状況にある。休園日以外は毎日投稿している。
- BBQ 等の集客は SNS 広告を利用することで、広告宣伝費を抑えている。
- SNS のフォロワー分析等によりターゲットを把握し、戦略を立てている。

## ③地域連携・イベント等の拡充

- SDGsをテーマに市民と連携し、木曽川をきれいにするマーケットを毎月開催している。学校や蜂屋柿生産者と連携したイベントも開催した。
- 市内3公園連絡会議を開催し、みのかも健康の森に BBQ の食材を提供するなど連携を図っている。
- 商工会に加入し、地域の経営者の方々と一緒にイベントを実施するなど積極的に連携している。
- 山之上地区の出荷できない梨を利用したスムージーやデザートを現在開発している。

## ④口コミへの対応

- 口コミ評価を大切にしており、「1(最低評価)」を受けないように気を付けている。現在、5 段階評価の「4.3」という評価を受けているが、ディズニーランドの評価(4.6)を超えることを目標にしている。

## ⑤Instagram

- Instagramのエンゲージメント率が7%を超えることを目標にしているが、なかなか達成できずに課題となっている。

## ⑥リバポの森の活用

- 森の遊具を設置し、プレーパークや自然学習の場として活用している。昆虫イベントやイルミネーション、モニターキャンプなども開催している。今後は関西圏までターゲットを広げるために、リバポの森でトレーラーハウスを利用した宿泊を展開することを考えている。

## ⑦公園管理

- 樹木の管理や芝生の管理などは専門的な知識が不足しており、土木課のアドバイスを受けて実施している。今後も連携して公園管理を行い、成長していく必要があると考えている。